

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

事業名 「清流の国ぎふ」めぐる旅PR事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 観光国際局 観光誘客推進課 国内誘客係 電話番号：058-272-1111 (内3959)

E-mail：c11336@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 **56,747 千円** (前年度予算額：**58,177 千円**)
 <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	58,177	11,166	0	0	0	0	0	0	47,011
要求額	56,747	11,166	0	0	0	0	0	0	45,581
決定額	56,747	11,166	0	0	0	0	0	0	45,581

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

新型コロナウイルス感染症の影響により減少した観光消費額の回復、さらなる拡大を図っていくためには、旅行検討者に対して「ぎふの魅力」を発信し、県内への誘客並びに長期滞在を促進していく必要がある。そのためには、WEB等による情報発信とともに、イベントの実施や観光展へ参加するなどの対面でのPRをバランスよく実施する必要がある。また、TVや雑誌などの情報媒体を活用して露出強化を図ることも重要となる。

本事業では、県内市町村や観光協会のほか、JR東海や関西岐阜県人連合会などと連携した観光PRとTV等のメディアへのプロモーションを実施し、本県への観光誘客を促進する。

(2) 事業内容

① ツーリズムEXPOジャパン出展事業		9,276千円
② 首都圏PR事業		1,980千円
③ 関西岐阜県人連合会と連携した誘客PR事業		612千円
④ JR東海連携事業		3,671千円
⑤ 観光PR・出展事業		10,031千円
⑥ 観光情報発信事業		10,824千円
⑦ 県観光季刊誌制作等事業		20,353千円

(3) 県負担・補助率の考え方

岐阜県全域をまたがる国内誘客の推進は県の事業であることから、県負担事業で実施。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

① ツーリズムEXPOジャパン出展事業

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	4,898	ツーリズムEXPO「岐阜県ブース」企画・運営
使用料	4,378	ツーリズムEXPO出展費
合計	9,276	

② 首都圏PR事業

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	1,980	首都圏観光PRの開催、メディアPR
合計	1,980	

③ 関西岐阜県人連合会と連携した誘客PR事業

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	612	観光PRコーナーの設置等
合計	612	

④ JR東海連携事業

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	3,671	連携PRイベント開催、交通媒体によるPR等
合計	3,671	

⑤ 観光PR・出展事業

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	10,031	PRキャラバン隊
合計	10,031	

⑥ 観光情報発信事業

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	158	プロポーザル評価会議報償費
旅費	622	業務旅費・費用弁償
消耗品費	246	PR用グッズの購入
会議費	3	プロポーザル評価会議費
役務費	120	通信運搬費
委託料	9,515	メディアツアー、TVタイアップ等
負担金	160	東海北陸ブロック物産観光連絡協議会分担金・会費
合計	10,824	

⑦ 県観光季刊誌制作事業

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	20,353	県観光季刊誌「岐阜っぽ。」等の作成
合計	20,353	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県長期構想 II ふるさと岐阜県の資源を活かした活力づくり
 3 地域の魅力を高め、観光交流を拡大し、消費を増やす
 (人を呼び込み、地域の消費を拡大するために)

岐阜県観光振興プラン

(2) 後年度の財政負担

関係機関との連携、あるいはメディア等への積極的な働きかけにより、本県の観光情報を効果的・継続的に発信する必要があるため、事業継続する。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

一つのエリアで複数泊（連泊）し、これらの周遊を促進することで、本県の高品質かつ本物の魅力が満喫できる宿泊滞在型観光を定番化する。

- ・第1ステージ(H20-24) 観光資源の掘り起こしとブランディング<点の拡大>
- ・第2ステージ(H25-29) 宿泊滞在型観光の本格展開<点から線へ>
- ・第3ステージ(H30-) 岐阜ならではの宿泊滞在型観光の定番化<線から面へ>

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
①観光消費額		1,721億円	2,400億円	2,900億円	3,300億円	52.2%
②観光入込客数 (実数)		3,842万人	4,000万人	4,800万人	4,900万人	78.4%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	新型コロナウイルスの影響により、事業の実施機会は限られたが、メディアの活用と観光展等の実施を両輪に、効果的に誘客を促進した。
令和3年度	新型コロナウイルスの影響により、事業の実施機会は限られたが、メディアの活用と観光展等の実施を両輪に、効果的に誘客を促進した。 指標① 目標：1,900億円 実績：1,721億円 達成率：90.6%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 3	観光客の県内周遊滞在を促進し、観光消費額を拡大させるため、市町村や観光協会などと連携したPRや、メディアを活用するPRを行い、岐阜県観光への興味を喚起する必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	旅行検討者に直接・間接に情報発信を行うことにより、岐阜県の魅力を認知させることができ、県内への観光誘客及び観光消費額の拡大につながる有効な事業である。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価) 2	市町村など関係機関との連携事業、メディア活用プロモーションを実施することにより、旅行検討者へ岐阜県の旬な観光情報を効果的・効率的に発信している。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 長期的な視点に立った首都圏、関西圏のプロモーション(新規顧客の獲得)と短期的な中京圏(リピーター獲得)を区別し、PRする内容も変えながら、PRすることが必要。さらに、アフターコロナを見据え、実施方法を柔軟に改善する必要がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 岐阜県への誘客のためには、継続的なプロモーションが必要である。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】